

Funehiki High School News vol.84

◆選手壮行会・ボール贈呈式が行われました

7月4日(金)に、各種県大会選手壮行会と野球部へのボール贈呈式が行われました。

壮行会では、吉田巧生生徒会長が「各部の目標達成に向けて頑張ってください」と激励をした後、各部の代表が、大会に向けての意気込みを発表



お礼の言葉を述べる渡辺主将



大会に向けての意気込みを発表する生徒

しました。引き続き、船引高校同窓会役員の鈴木節雄様および田村自動車学校様から頂いた、野球部へのボール贈呈式がありました。渡辺啓太主将は「地域の皆様や仲間たち、支えてくれる人々に感謝の気持ちを持って頑張りたい」とお礼の言葉を述べました。また、船引高校同窓会役員の本田東生様からボールを、同じく三野輪吉典様から冷却スプレーを頂きました。ありがとうございました。

◆外部講師による事業が行われています

(1) 福島大学・出前講座

7月9日(水)に、福島大学行政政策学類教授の新谷崇一氏による出前講座が開かれました。「21世紀における生涯スポーツのあり方」を



研究テーマとされている新谷先生が、実際に福島大学で行っている講義の1時間を展開してくださいました。聴講した特別進学クラスの生徒たちは、「生涯スポーツ論～生涯スポーツの誕生とその意味～」について、時間も80分間という大学生なみの講義に、熱心に聴き入っていました。最後に、3年4組佐藤美幸さんが、「生涯スポーツの意義は、大人から子ども、健常者から障害者、男女のそれぞれにあったスポーツをすることだと分かり、もっと深く生涯スポーツについて学びたくなりました」と、お礼の言葉を述べました。

(2) 福島県立博物館・日本文化史

7月11日(金)に、2、3学年特別進学クラス文系の日本史Bの授業において、福島県立博物館学芸員の荒木隆氏による日本文化史の講義が行われました。本年度3回を予定している講義の2回目で、「福島最古の寺院を探る」というテーマでした。生徒たちは、普段の授業で学習している事柄に、福島県や田村市の歴史を重ね合わせることで、より日本史に興味を持ったようです。



◆前期PTA奉仕作業が行われました

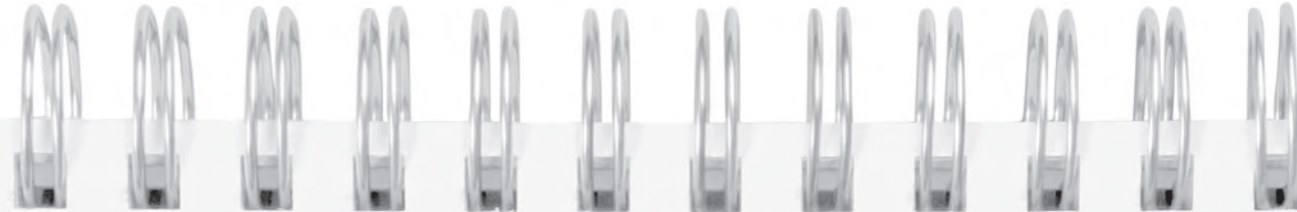
6月21日(土)に、前期PTA奉仕作業が行われました。午前8時半から約1時間、約80人の保護者、そして運動部の生徒と職員により除草や石拾いなどが行われました。



後期は、9月を予定しています。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail...school@funehiki-h.fks.ed.jp



1年で最も素晴らしい季節

Rachel Sherer
レイチェル・シエルーさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	14

私が日本にいて大好きなことの一つは、人々が季節の変化にいかにか敏感かということです。日本人は、1年中いつでも四季の美しさを楽しんでいます。このことは、「花見」「重陽の節句(菊の節句)」「紅葉狩り」「夏の花火」「冬のイルミネーション」などの季節の行事に表れています。今は私の一番好きな季節、ハイキング・トレッキング(山登り)の季節です。私は休みの日にい

つもハイキング・トレッキングに行きます。もしも週末ハイキングに行くことができるのなら、私は毎週でも行くでしょう。なぜなら日本は山が多く、行き先の選択肢が豊富だからです。うれしくなります。



日本に来てからは、夏休みにいつも数日間のハイキング・トレッキング旅行に出かけています。過去の例を挙げると、山形県の鳥海山や北海道の大雪山に行きました。この夏は8月9日に日本アルプスへのトレッキングを計画していました。妹の結婚式が8月9日だと知った時は、高まる期待感が一遍にしぼんでしまいました。私は妹が大好きなので、もちろん妹の結婚を祝うために帰国します。結婚式に出席するためには、数日間日本を離れることとなります。夏に予定していたことは全てできなくなります。このため、トレッキングを断念しなければならないフラストレーションと失望感に打ち勝つのに、2、3日かかりました。

皆さんは「どうして私がこんなにハイキング・トレッキングが大好きなのだろうか」と思うでしょう。ハイキング・トレッキングは私の心の欲求を満たしてくれるのです。例えば、もしちょっとリラックスして自然の美しさを楽しみたいなら、ハイキングでそれができます。あるいは自分を試して達成感を感じたいと思うなら、トレッキングで満たされます。トレッキングする人が山の頂上に行くことだけを考えているとしたら、万が一何かのハプニングで頂上に行くことができないと、その人は満足感を得られないでしょう。しかし、障害があったり、険しい道のりだったりしても美しい花々の咲いている山道を一步一步楽しむことができれば、トレッキングする人は満足感を得られるでしょう。ハイキング・トレッキングは一種の人生の縮図だと言えます。ハイキング・トレッキングは歩く(生きる)スピードを下げた日常生活を楽しむことを私に気づかせてくれます。私がハイキング・トレッキングを大好きな理由は、そのためかもしれません。

私はハイキング・トレッキングの道で年配の方々の姿を見るといつも感動します。日本の人たちは素晴らしいです。私が70歳になっても、山登りができることを願っています。将来私が住む所は、きっとたくさんの山がある場所になるでしょう。